



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 パラカ株式会社

コード番号 4809 URL <http://www.paraca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 内藤 亨

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 間嶋 正明

TEL 03-6230-2300

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・金融機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	5,006	15.6	911	5.8	779	7.3	499	14.9
25年9月期第2四半期	4,331	12.4	861	7.0	726	10.0	434	17.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	53.88	52.64
25年9月期第2四半期	47.63	46.68

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	20,017	7,833	38.7
25年9月期	19,629	7,377	37.2

(参考)自己資本 26年9月期第2四半期 7,752百万円 25年9月期 7,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年9月期の年間配当金は、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	12.2	1,670	0.1	1,390	1.9	870	2.9	93.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期2Q	9,719,600 株	25年9月期	9,673,800 株
----------	-------------	--------	-------------

- ② 期末自己株式数

26年9月期2Q	415,028 株	25年9月期	415,000 株
----------	-----------	--------	-----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	9,272,628 株	25年9月期2Q	9,130,706 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割を考慮し算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（自平成25年10月1日至平成26年3月31日）における我が国の経済は、賞与支給額の増加や消費税率引き上げ前の駆け込み需要により個人消費が順調に推移し、また企業生産活動、設備投資、政府支出も増加を続けるなど景気は順調に回復経路をたどっております。

当社の属する駐車場業界においては、2月の豪雪により、特に関東甲信越で売上に大きな影響があったものの、慢性的な駐車場不足と消費税増税前の駆け込み需要等により、売上について底堅く推移しました。

このような中で、当社は、引き続き積極的な営業活動を行い、新規駐車場の開設を進めるとともに、既存駐車場の料金変更を積極的に行うなど採算性向上に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間においては105件2,077車室の新規開設、40件909車室の減少により65件1,168車室の純増となり、3月末現在1,359件19,380車室が稼働しております。

以上の活動により、当第2四半期累計期間の売上高は5,006百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益911百万円（同5.8%増）、経常利益779百万円（同7.3%増）、四半期純利益499百万円（同14.9%増）を計上いたしました。

当社の具体的な駐車場形態毎の状況は以下のとおりであります。

(賃借駐車場)

当第2四半期累計期間において103件2,056車室の開設及び39件855車室の減少により64件1,201車室の純増となりました。その結果、3月末現在においては1,251件15,960車室が稼働しております。

地方都市の駅前にて大型駐車場の契約終了及び解約があったものの、新規駐車場の開設が順調に進み、加えて、積極的な料金変更の効果もあり、既存駐車場の売上が堅調に推移したため、売上高は4,097百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

(保有駐車場)

当第2四半期累計期間においては、2件21車室がオープンし、売却等により1件54車室減少しました。その結果、3月末現在においては108件3,420車室が稼働しております。

売上高は741百万円（同3.8%増）となりました。

(その他売上)

当第2四半期累計期間においては、不動産賃貸収入、自動販売機関連売上、駐輪場売上及び太陽光発電売上により、売上高は167百万円（同29.9%増）となりました。

当事業年度における駐車場形態毎の販売実績は以下のとおりです。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	前事業年度 (自平成24年10月1日 至平成25年9月30日)
駐車場形態	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
賃借駐車場	3,488	4,097	7,188
保有駐車場	714	741	1,416
その他売上	128	167	307
合計	4,331	5,006	8,913

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は20,017百万円となり、前事業年度末から387百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加（369百万円）によるものです。

当第2四半期会計期間末における負債の部は12,183百万円となり、前事業年度末に比べ67百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少（417百万円）によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産の部は7,833百万円となり、前事業年度末に比べ455百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加（407百万円）によるものであります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の37.2%から38.7%となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前事業年度末に比べ366百万円増加し、1,810百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は前年同四半期に比べ373百万円増加し、956百万円となりました。これは主として、税引前四半期純利益794百万円、減価償却費272百万円、法人税等の支払額116百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は前年同四半期に比べ467百万円減少し、15百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出139百万円、有形固定資産の売却による収入100百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は前年同四半期に比べ456百万円増加し、574百万円となりました。これは主として、借入金による収入400百万円、借入金の返済による支出699百万円、リース債務の返済による支出179百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済については、平成26年4月以降について若干の反動減が懸念されるものの、政府の景気下支え政策等により景気腰折れは回避されることが期待されております。

当社の属する駐車場業界におきましても、一定の解約は続くものの、新規駐車場の開拓は順調に推移し、既存駐車場についても積極的な売上増加策を進めることにより、売上は増加傾向にあります。

一方で、新規開拓の加速化に伴い、賃料等の原価が先行し、売上総利益率が前期に比べて若干低下しております。

今後につきましては、賃借駐車場の新規開拓については開拓のペースを落とすことなく引き続き積極的に進めてまいります。既存駐車場については細やかな周辺状況の把握等により収益性の向上を目指してまいります。保有駐車場用地及び太陽光発電所用地の取得についても注力してまいります。

なお、平成26年9月期の業績予想数値につきましては、平成25年11月6日付公表の予想から修正はありません。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が公表している見通しと異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用の計算については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,507	1,876
売掛金	59	133
前払費用	434	471
その他	46	50
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	2,046	2,532
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	806	787
土地	14,022	13,984
リース資産（純額）	1,561	1,670
その他（純額）	812	710
有形固定資産合計	17,203	17,152
無形固定資産	34	31
投資その他の資産	343	300
固定資産合計	17,582	17,484
資産合計	19,629	20,017
負債の部		
流動負債		
買掛金	113	122
1年内償還予定の社債	40	40
短期借入金	—	100
1年内返済予定の長期借入金	1,031	1,047
未払法人税等	134	315
賞与引当金	29	30
その他	610	611
流動負債合計	1,958	2,268
固定負債		
社債	330	310
長期借入金	8,231	7,814
リース債務	1,270	1,340
その他	461	450
固定負債合計	10,293	9,915
負債合計	12,251	12,183

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,611	1,622
資本剰余金	1,641	1,652
利益剰余金	4,334	4,741
自己株式	△100	△100
株主資本合計	7,486	7,915
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	5
繰延ヘッジ損益	△184	△167
評価・換算差額等合計	△182	△162
新株予約権	73	80
純資産合計	7,377	7,833
負債純資産合計	19,629	20,017

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	4,331	5,006
売上原価	3,015	3,598
売上総利益	1,316	1,407
販売費及び一般管理費	454	496
営業利益	861	911
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	0	—
未払配当金除斥益	0	1
その他	0	0
営業外収益合計	2	2
営業外費用		
支払利息	134	131
その他	2	2
営業外費用合計	137	133
経常利益	726	779
特別利益		
固定資産売却益	—	24
特別利益合計	—	24
特別損失		
固定資産除却損	7	8
特別損失合計	7	8
税引前四半期純利益	719	794
法人税等	284	295
四半期純利益	434	499

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	719	794
減価償却費	214	272
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	1
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	134	131
固定資産売却損益 (△は益)	—	△24
固定資産除却損	7	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△6	△73
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	8	△41
仕入債務の増減額 (△は減少)	29	8
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△28	94
その他	14	32
小計	1,093	1,205
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△135	△132
法人税等の支払額	△375	△116
営業活動によるキャッシュ・フロー	583	956
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△3
有形固定資産の取得による支出	△476	△139
有形固定資産の売却による収入	—	100
無形固定資産の取得による支出	△1	△4
敷金及び保証金の差入による支出	△8	△10
敷金及び保証金の回収による収入	9	43
その他	△4	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300	250
短期借入金の返済による支出	△196	△149
長期借入れによる収入	462	150
長期借入金の返済による支出	△477	△550
社債の償還による支出	△20	△20
新株予約権の行使による株式の発行による収入	19	17
リース債務の返済による支出	△133	△179
配当金の支払額	△72	△91
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118	△574
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△18	366
現金及び現金同等物の期首残高	1,566	1,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,548	1,810

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、駐車場の開拓及び運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。